

2005年 2月 10日

## 「安心・安全に住まう」意識調査

関心は約90%と高く「防犯対策」「住宅性能」「防災対策」を最重要視

株式会社長谷工アーベスト（本社：東京都港区、社長：安永雄一郎）では、この度、首都圏在住のモニターを対象にWEBアンケート形式による「安心・安全に住まう」意識調査を実施致しました。その結果、「安心・安全に住まうこと」についての関心は約90%と高く、関心の高さの理由としては、治安の悪化や昨年の災害による被害などが挙げられました。また「安心・安全に住まうために最も必要なこと」は、『住宅性能』『防犯対策』『防災対策』の順となっており、「生命・財産を守ることができる住宅」としての性能が最重要視されています。

### 【調査結果のポイント】

#### 1. 「安心・安全に住まう」ことについての関心の高さは90%

「以前から関心が高い」「最近、関心が高まった」が約90%と高い比率を占め、「安心・安全に住まうこと」についての関心の高さを確認することができました。

年齢別に見てみると、全ての世代において関心が高くなっていますが、35歳以上では「以前から関心が高い」がおよそ40%以上となっているのに対し、20代後半～30代前半の若年層では、「最近、関心が高まった」という回答が50%となりました。

#### 2. 関心の高さの理由は「治安」や昨年の地震や津波による「災害」など

関心が高い理由としては、犯罪多発による「治安の悪化」、昨年の新潟中越地震や、スマトラ沖地震による津波などの報道から、「災害」に関することが多く聞かれました。その他として「幸せの根幹である」や「老後の一人暮らし」「大都市には必要なこと」等の意見も聞かれました。

#### 3. 「防犯対策」「住宅性能」「防災対策」を最も重要視

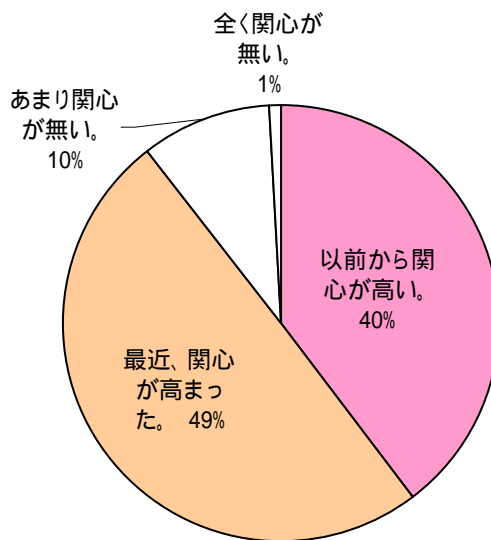
「安心・安全に住まう」ためにはどんな事が必要だと思われますか」という設問に対し、上位から『防犯対策』『住宅性能』『防災対策』がそれぞれ約90%の回答があり、「高セキュリティ・高耐久・地震や災害に強い」ということを満たした住宅に対するニーズが非常に高いことが分かりました。これに対して、心地良さや快適性に関わる項目は後順位となっています。

また「安心・安全に住まうために最も必要なことは何ですか」という設問については『住宅性能』が約32%、次いで『防犯対策』が約26%、『防災対策』12%の順となっており、「生命・財産を守ることができる住宅」としての性能が最も重要視されています。

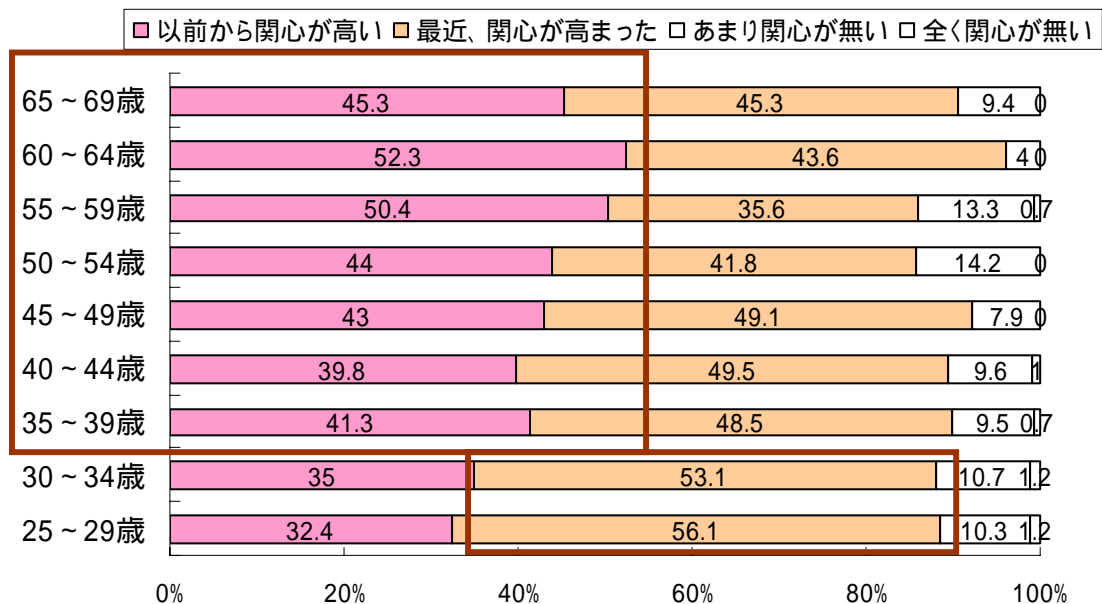
## 【長谷工アーベスト「安心・安全に住まう」意識調査】

調査概要	
調査対象	首都圏在住者
調査手法	インターネットアンケート
調査実施日	2005年1月4日(火)～10日(月)
発送件数	42,259件
回答有効件数	2,699件

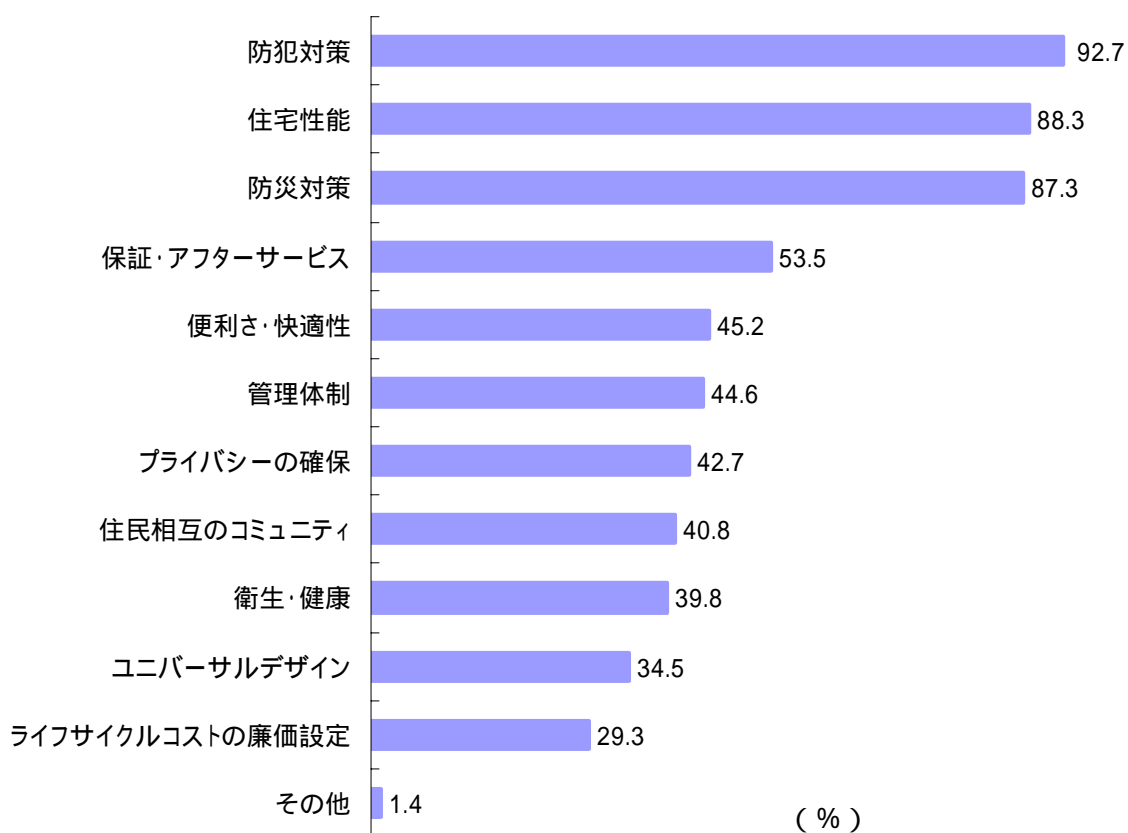
Q1.「安心・安全に住まう」ことについてのご意見をお聞かせ下さい。



<年齢別の関心度合い>



Q 2 .「安心・安全に住まう」ためにはどんな事が必要だと思われますか？（上位6つを回答）



Q 3 .「安心・安全に住まう」ために最も必要なことは何ですか？（単回答）

